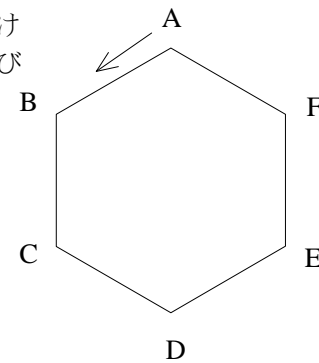


問. 図のように、六角形ABCDEFがあり、1個のサイコロを振り、出た目の数だけ反時計回りに頂点を移動するコマがあります。最初にコマはAにあり、Aに再び止まったときサイコロを振るのをやめます。



(例) サイコロの目が2 → A → C サイコロの目が5 → C → B → (大阪星光 H24)

- (1) 2回サイコロを振って、初めてDに止まるとき、サイコロの目の出方は 通りあります。
- (2) 3回サイコロを振って、初めてDに止まるとき、サイコロの目の出方は 通りあります。
- (3) 5回サイコロを振って、Aに止まるとき、サイコロの目の出方は 通りあります。

文章題分野

小単元一場合の数 文章題のどの単元が弱点かが一目でわかります。

指導学年 6

難易度 1 当社独自の難易度を1～3に識別、難易度1が最難問です。

【図入り解説】

- (1) 1回サイコロをふった場合、AとDで止まらない場合、1、2、4、5の4通り。
 2回目はそれぞれ（1回目のサイの数，2回目のサイの数）（1，2），（2，1），（4，5），（5，4）の各1通りある。 $4 \times 1 = 4$ 通り 答. 4通り
- (2) 1回目は(1)同様1，2，4，5の4通り。
 2回目は—1回目が1の時、1，3，4，6の4通り。2回目が2の時、2，3，5，6の4通り。1回目が4，5の時も同様に4通りある。
 3回目は、2回目のそれぞれに1通りあるので、全部で、 $4 \times 4 \times 1 = 16$ 通り 答. 16通り
- (3) 同様に考えると、1回目は1，2，3，4，5の5通り。2回目も1回目のそれぞれに5通り。3回目、4回目も同様にそれぞれに5通り。5回目は4回目のそれぞれに1通りあるので、全部で $5 \times 5 \times 5 \times 5 \times 1 = 625$ 通り 答. 625通り